

(福) ケアハウス信愛館

◆十二月になり入居者皆様はクリスマスを迎える準備に余念がありません。この一年を振り返りますと異常気象故の様々な災害が日本列島に襲い掛かり各地に被害をもたらしました。けれどもこの信愛館では普段と何ら変わらない生活を送ることができ、安堵すると共に感謝しています。今後も気をゆるめることなく災害に対する備えを充実させるつもりです。

◆十一月一日(金)から一週間「文化祭展示の部」として皆様が作られた作品を二階集會室で展示しました。例年通り力作が並びました。書道、編み物、手芸、自作俳句の短冊、絵画、ちぎり絵、絵手紙、ガラスアートなどその多岐に渡る趣味に驚かされました。年齢に関係なく意欲があれば何でもできる、と実感した文化祭でした。



◆十一月六日(水)寿司ツアーで「スシロー」へでかけました。タッチパネルで注文するのは初めての経験でしたが、親切な店員さんに教えてもらい皆様は口々に「楽しかった」「おなかがいっぱい」と初めての体験を喜ばれていました。

◆十一月七日(木)「秋の火災予防に伴う事業所合同訓練」が信愛館で行われました。近江八幡消防署からも何度か打ち合わせのため来館していただき、訓練当日を

迎えました。実際に消防車をはじめポンプ車なども出動し、逃げ遅れた人がいるとの想定で、居室のベランダからの救出訓練も行ない、訓練終了後「医療・保健・福祉の里」としての各部署担当者、指導していただいた消防関係者の方々、亀山理事長や信愛館職員で反省会を持ち、問題点、今後の対策などについて話し合い、とても有意義な訓練となりました。

◆十一月十三日(水)「喫茶ツアー・シャレー水が浜」へ出掛けました。天気も良く暖かい日だったので急遽皆様に呼び掛け、お店のご好意で全員が眺望の素晴らしい席を用意していただけて、晴れ渡った琵琶湖の景色や水辺の鳥が泳ぐ様子も見ることができました。岸边まで降りて行かれた入居者もあり楽しいひとときを過ごしました。